

「広尾町の子ども像」が少しずつ見えて来ました！！

日 時 平成30年6月22日（金）

会 場 広尾町コミュニティセンター

参加者 59名（そのうち教職員27名）

先に実施した町民アンケートの結果報告の後、9グループに分かれて熟議を行いました。



開会挨拶 笹原教育長



開会式

アンケート結果説明要旨__教育委員会管理課長

（住民）

対象件数 3250 世帯中、689 世帯回答。20.3%の人が回答。70 歳以上が最も多く 30%。

子育てと地域創生には学校が必要だと思っている方が多いが、実際の学校運営に関しては、知らない方が多い。

学校や教職員への信頼も高く、学校への協力にも応じたいと思っている方が多いが、実際には、学校行事に参加している方は少ない。

CSへの制度浸透は、まだこれからで、学校運営への参画が鍵となる。学校と地域の方との教育目標の共有が必要。

（教職員）

教職員はすべての方が回答。

「子供を育てるには、地域と学校の連携が必要だ。」「学校をよくすることで地域そのものがよくなる。」と考えている先生が多い。

一方、「地域が抱えている課題や、今何に困っているかを知っている。」「学校での教育に役立てることができる、地域にある素材や人材を豊富に知っている」という質問に対しては、当てはまらないという答えが多い。

学校と地域との意見交換が必要。

あるグループの熟議の一コマ

ステップ①…付箋紙に「子ども像」を記入

当初、難しそうに思えたものの、程なく、1人3枚、4枚・・・と付箋紙がたまって行く。

ステップ②…1人1つずつ発表

最初の一人が「自ら進んで学ぶ子」を提示する。次に、関連する姿として「自立できる大人に」が示される。すると、「仕事はあきらめないで続けてほしい、退職まで」と続く。一気に人生を貫く目標にまで高められる。ファシリテータ必死に議論についていく。

ステップ③…共通点・相違点を考察

「元気に挨拶ができる」と「人にあいさつができる」をグループにして「挨拶」とネーミング。「先輩を先輩と思える人に」は「挨拶」に関係あると誰かが発言。予期していなかった発言にファシリテータの手が止まる。「挨拶は尊敬の気持ちがあつてこそ」と皆で納得し、「先輩を・・・」の横に「尊敬」というワードを書いて「挨拶」とつなぐ。



全体発表で出てきたキーワード

【教職員のグループ】

(健康、思いやり、自己判断、地域を大切にする、バランス、向上心、コミュニケーション、あきらめない、広い視野)

(主体性、認め合う、協力、意思表示、自己管理、素直、頑張る、チャレンジ、善悪の判断、素直)
(グローバルな視野、理想の自分、思いやり・愛情、活力、広い心、協力、郷土愛)

【地域住民のグループ】

(地域、目標、社会・未来、学校、礼儀、コミュニケーション、身・技・体)

(社会性、家族愛、思いやり、いつも明るく、読書は人を育てる、目標、地元愛、話を聞こう)

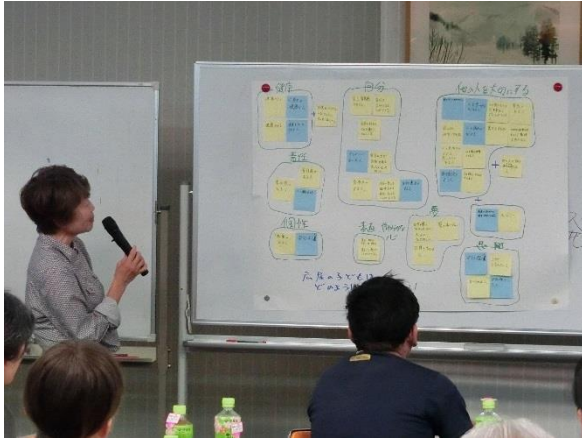
(礼儀の正しい大人、心が広い大人、自分に自信をもてる大人、笑顔のすてきな大人、趣味をもてる大人、人生を楽しむ大人、健康な大人、自分の意見を言える大人、良否を言える大人、地域の産業を理解できる大人、相手を思いやる大人、チャレンジできる大人、自立できる大人、人から信頼される大人、人を認める大人)

(健康、自分、他の人を大切にする、責任、個性、素直・柔らかな心、夢、忍耐)

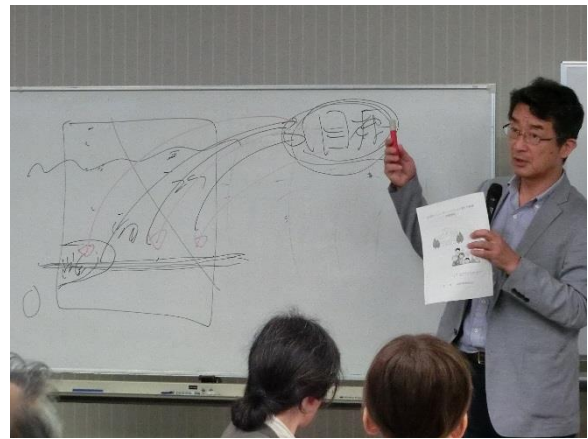
(思いやり・感謝、物、向上心、善悪の判断、郷土愛、自立心、協調性、尊敬、挨拶、健康、読書)

(社会性・思いやり、郷土の誇り、自立)

※ 同色のキーワードは同じグループから提示されていることを表します。



全体発表



兵庫教育大学 日渡 円 教授

最後に、講師の日渡先生は、「皆さんの考える子ども像が少しずつ見えて来ました。共通なものが見えてきたと思います。今度はそれらの関連性を考えてみてください。それを1つの文で表すよう努力してください。それが、コミュニティスクールの目標です。学校も家庭も地域もこの大きな目標に向かっていくことが大切です。」とお話しされました。



閉会挨拶 広尾中学校 加藤校長